

# 風の子守唄

門倉 さとし 作詞  
神野 和博 作曲

かぜはどこでねむるのだろう  
走りつかれた足をのばして  
千じょう敷の 大海原  
それとも 渡り鳥の土産話  
みどりの島で 聞きながら  
おやすみ おやすみ 風よ

お や す み — お や す み か ぜ よ —

風はどこでねむるのだろう  
走りつかれた足をのばして  
千じょう敷の 大海原  
それとも 渡り鳥の土産話  
みどりの島で 聞きながら  
おやすみ おやすみ 風よ

風はどこでねむるのだろう  
肩をふるわせ 息はずませて  
火照るからだを 氷河のしずく  
それとも 谷間の奥のハーブの畑  
つぼみのうたを あたためて  
おやすみ おやすみ 風よ

風はどこでねむるのだろう  
こおりついた季節の夜は  
ロマンきらめく 南の星座  
それとも はるか銀河の星砂の岸  
渚のしぶき 夢の中  
おやすみ おやすみ 風よ